＜司会＞

おはようございます。

本日はお集まりいただきありがとうございます。

品川区長記者会見を始めさせていただきます。

初めに、森澤区長より、新年度の事業などについてご説明をいたします。

そのあとに、皆さまからのご質問をお受けいたします。

終了は10時40分を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、区長お願いいたします。

＜区長＞

おはようございます。

本日は、年度末のお忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。

着座にてお話をさせていただきます。

12月4日の品川区長就任から今日で115日ということで、約4カ月が経過いたしました。

2度の区長選で掲げてまいりました「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける品川」。

こうした社会の実現に向け、スピード感を持ってこの間、区政に邁進して参りましたが、昨日の品川区議会におきまして、令和5年度一般会計予算案、その他、事業執行に関する条例等について、すべての議案の議決をいただきました。

この令和5年度予算は「新時代のしながわ」スタート元年として、現下の社会情勢、経済情勢や区民ニーズを踏まえ「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける社会への歩みを力強く踏み出す予算」と位置付けております。

今後の予算執行にあたりましては、議会でいただいたご指摘や提案、そして、区民の皆さまからの声なども踏まえながら、区民の幸福（しあわせ）に向け、スピード感を持って進めてまいります。

また、昨日は、4月12日で任期満了となる、現在の中島教育長に代わり、新しい教育長の任命同意をいただきました。同意いただいたのは、伊﨑みゆきさんです。

伊﨑みゆきさんは、現在、品川区の地域振興部長で、子ども・子育て、福祉分野、地域振興・地域活動分野での経験が豊富です。学校や児童・生徒を取り巻く環境がより多様化・複雑化する中にあって、そうした経験・知見を多面的に生かし、さらに教育行政の進展、そして子ども一人ひとりを、支え伸ばしていく教育を進めていくためにも、教育長として適任であると考えております。

学校と行政、地域をつなぐ存在として、新しい風を吹かせてくれるのではないかと思っております。品川区では、初めての女性の教育長となります。

さて、予算成立、条例等改正に伴い、4月1日から開始する事業等をご紹介いたします。

改めてにはなりますが、私が重点政策として掲げました、保育・教育・医療、子育て3つの無償化につきましては、いずれも所得制限を設けることなく、すべての子育て家庭の負担を減らすべく、4月1日からスタートいたします。

「第2子の保育料無償化」、これにつきましては、10月から開始する東京都に先駆けまして、4月から実施をしてまいります。また、認証保育所についても、認可保育園と同程度を助成してまいります。

「学校給食の無償化」も4月から開始をいたします。なお、都立特別支援学校に通う児童・生徒についても、区の就学相談を経て進学されていること、また区立の学校と、副籍交流などを実施していることにも鑑みまして、給食費の実態を把握した上で、支援を検討しております。

また、「高校生等の医療費の無償化」については、都の助成制度から外れる高校生等も区として対象といたします。

このように、所得制限を設けない「子育て3つの無償化」をスピーディーに実現することで、「子育て・教育で選ばれるしながわ」に向けて、大きな一歩を踏み出すとともに、子育て世帯、子どもたちを支える社会に対するメッセージを発信することができるのではないかと考えております。

次に、子育て関連で、もう一つです。こちらは東京都の10分の10補助の事業ではありますが、妊婦健診において、現在1回の超音波検査の公費補助が、4月から4回分まで公費補助となります。

こちらは妊娠届け出時にお渡しするバッグに同封いたします。

次に、東京都パートナーシップ宣誓制度の活用についてです。

今回条例改正等もいたしました、区営住宅等、公営住宅の利用等、区の13の行政サービスについて適用を開始いたします。また、慶弔等の休暇取得等について、職員の福利厚生についても、適用となります。

区民への周知等ですけれども、4月1日からは区内の橋梁、まず、かもめ橋と勝島橋の二つの橋、それ以外の11の橋、合計13カ所になりますけれども、それ以外の11の橋については、4月17日から区の橋梁をレインボーにライトアップして、区民への周知や啓発に努めてまいります。多様性に関する講座、講演会等も引き続き実施をしていくかたちとなります。

最後に、タウンミーティングの実施についてです。

「区民とともに進める　新時代のしながわ」を実現していくべく、平成29年以来、6年ぶりとなるタウンミーティングを開催いたします。

開催形式もアップデートをいたしまして、対話型形式で開催することを考えております。

「わ！しながわ」が、品川区のシティプロモーションのキャッチコピーでありますが、話すの「話」、輪っかの「輪」、「話！輪！しながわ！みんなと区長のタウンミーティング」という名称で、来年度内に4回開催する予定でおりまして、1回目を6月10日に行います。

テーマは「ＳＤＧｓ未来都市・しながわに向けて」です。

新たな取り組みとして3点ございます。

一つ目が、「一方的」に意見を聞くというかたちではなくて、区民の皆さまとともに、「区政の未来」を考えるということで、ワークショップ形式で行うことを考えております。

二つ目は、手話通訳、託児サービスの導入で、誰もが参加しやすい環境をつくってまいります。

そして三つ目は、ファシリテーターに入っていただいて、多様な意見や選択肢を繋げていくとともに、民間等の会議等でも活用されております、グラフィックレコーディングで「対話の可視化」を図っていきたいと思っております。

募集開始は4月1日で、ホームページから申し込みいただけます。

また、区報にも掲載をさせていただきまして、はがき、ＦＡＸ等でもお申し込みいただけるようになります。

私からは以上となります。

ご清聴ありがとうございました。

＜司会＞

それでは、質疑応答に入ります。

恐れ入りますが、ご質問は、1回につき1項目、ご質問内容をまとめて簡潔にお願いできればと存じます。

また、ご質問の際は、所属とお名前をお願いいたします。

それではご質問のある方は挙手をお願いいたします。

＜質問者A＞

区長に就任されて、現在、月1回、記者会見を開いていただいていますけれども、やっぱり森澤区長になってから、前区長から、ちょっと変わった大きなポイントだと思うんですけれども、記者会見を頻繁に開催することっていうのが、区にとってや区長にとって、どういう意義があるのかということと、また、こういう、変わったことに対しての、何か区民からの反響などがあれば伺いたいんですけど。

＜区長＞

記者会見自体は、メディアの皆さんを通して、さまざまな情報を発信していく、説明させていただくという場ですけれども、今、ライブ配信をしているという形で、区民の皆さんも直接見ていただけるということで、やはり、区民ともに進める品川区政ということで、区政に少しでも関心を持っていただけたらという点が大きいかなと思っています。

また、特に、記者会見自体について、何か反応があるというわけではありませんが、記者会見を通して、さまざまなメディアの方に取り上げていただいて、そして、それを見た区民の方からの反応というのは、いただいているところであります。

＜質問者A＞

関連してもう1点ですけれども、発信というところでは、例えば、担当の方のトップが発信するというとか、いろいろ形がある中で、区長という立場、一番のトップが、こう前に出て、何か発信するというところの意味というのはどういうところでしょうか。

＜区長＞

やはり私も今、個人のツイッターなんかも使って発信をしていますけれども、さまざまな形で、区の情報を伝えていくというのが、必要なのかなと思っております。

＜質問者B＞

統一地方選挙が近づいてまいりましたけど、駒崎さん、北区の駒崎さんとは二連ポスターとかをやられているとお伺いしています。統一地方選挙全体で、どのような動きをされるとか、どういった方に支援に行くとか、そういったことを決めていらっしゃいますでしょうか。

＜区長＞

まさに4カ月前、私も選挙をしているような状況でして、さまざまな方、志を同じくしている人たちが応援に来てくれて、実際、女性議員をはじめ、所属の議員を中心にさまざまな、本当に多くの方が応援に来てくれましたので、そういった方々が今回、選挙になっている場合も多いですので、そういう志を同じくする人たちの応援はしていきたいと思っています。

＜質問者B＞

今のところ入られるのは、北区と、あとどちら。

＜区長＞

具体的な名前は控えさせていただきたいと思います。

＜質問者B＞

あと、区議選ではどなたかの応援に。あの、瀬尾さんとかは、もともと一緒にご活動されていたと思いますが。

＜区長＞

それについても、やはり、この方向性や志を同じくする人は応援したいと思っています。

＜質問者C＞

今日の発表の関連ではない質問ですみませんが、まず、児童の見守りシステムの「まもるっち」について。こちら、子どもたちを守るよい取り組みを、今、長年20年近くやっているということなんですけど、他の自治体に広がっていないということで、発信力のある森澤さんであれば、新たに、他の自治体へのアピールとか、特にこの近隣自治体が導入したら、結局、区境とかって、例えば大田区で何かあったときに、品川区にもその犯人が来る可能性がある一方、逆にですね、品川区のほうで何か事案が発生したときに、その人が大田区に来るという可能性もちろんあるわけですから、できれば、これが広域に広がって、それこそ23区全部でやっていますよ、ってなったらよりいいのかと思うんですけど。このシステムについての区長の考えとか、アピールしたいところとか何か説明いただければなと思います。

＜区長＞

「まもるっち」については、私自身もすばらしいシステムがあるという実感を小学生の母親として思うところではあります。また、区民の方々に、特に子育て世代の方々に聞くとやっぱり「まもるっち」というのが品川区の良いところとして多くあがっているという意味では、区民の皆さんからも非常に重要だと考えられていると感じています。

その「まもるっち」ということだけではなくて、やはり地域で見守っていく。そういったことが、アナログの部分とデジタルの部分と両方が機能して、児童・生徒の安全、そしてひいては区民の皆さんの安全というのが守られていくのかなと感じているところであります。

近隣の自治体については、それぞれの自治体のご判断とはなりますが、こういった良いシステムがありますということは、より多くの方に知っていただくといいのかなと思います。

＜質問者C＞

それから先日、プレス発表していた災害備蓄管理の一社への集約についての取り組み。これはですね、多分、全国の自治体で課題があるっていうか、同じことが問題であるのではないかなと感じました。

ただ、区の発信だけですとね、何のことかよくわかりにくくて、読売新聞の方がより詳しくまとまって説明があったんですね。

それなので、ぜひ、区長からも、この会見を通してですね、より、この今回の発表についてもう少し説明をしていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

＜区長＞

やはり過去の震災、地震等でも、その災害の物資が滞ってしまったというのは、物流の、輸送の問題っていうのは、指摘をされていまして、そういったものを一つ解決する手段として、平時からの仕分けとか配送、在庫管理を行って、一括して行っていただくことで、災害時にもしっかりとそれが有効に機能するような形をとるというのが、今回の取り組みであります。なので、プッシュ型支援など、そういったことも災害時というのは考えられますが、そういったところにうまく機能していけばいいなと思っています。

＜質問者C＞

ぜひ、これは始めるという発表だったと思うので、ここで1年とか進めた段階で、こう変わりましたとか、これだけ効果があったっていうところを、ぜひ情報発信をしていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

＜区長＞

ありがとうございます。

＜質問者C＞

それからですね、統一選の件ですけれども、今回の統一選で首長に挑戦する女性候補も多くいらっしゃるかなと思うんですけども、その女性候補に対して、メッセージをお願いします。

＜区長＞

私もそうでしたけれども、やはり、選択肢がさまざま、多様な人材が立候補すれば、それだけ有権者、区民・市民の皆さまにその選択肢が生まれて、いろいろと自分のまちを考えるきっかけにもなると思いますので、まだまだ、実際問題、政治の世界には女性が少ないというのもありますので、その一歩踏み出した勇気ということに敬意を表しつつ、頑張っていただきたいなと思います。

＜質問者D＞

品川区役所の新庁舎整備事業についてお聞きしたいんですけども、改めて、区長の新庁舎に期待するところや考えをお聞かせください。

＜区長＞

実際、老朽化という課題もありますので、そういったところをしっかりと整備をしていく、防災の視点からもしっかり進めていくということが必要だと思いますし、また、本当は区役所に来なくても、行政サービスが受けられるというのは、デジタル化も必要だとは思いますけれども、区役所の窓口でワンストップサービスを実施するなど、区民の皆さんにとって利便性の高い、そういった区役所にしていければと思いますし、あとは働き方ですね。職員の会議室が足りないとか、実際、職務スペースが狭いというようなこともありますので、職員の働き方もよりよくしていきたいなというところであります。

＜質問者D＞

もう1点お伺いしたいんですけれども、現庁舎跡地の活用について、来年度予算で3,000万円計上されたと思うんですけども、現在計画している事など何かございましたらお聞かせください。

＜区長＞

今後、仮称ですけれども「跡地の活用検討委員会」、そういったものを立ち上げまして、区民の皆さまのニーズを把握しながら、今後どうしていくかということを検討していきたいと考えています。

＜質問者E＞

先日、ＪＲ東日本の社長会見で、大井町の駅前の再開発の概要が発表されました。オフィスやホテルなど、3万平米の開発、あるいはその災害時に避難所としても使える公園の整備がでています。区長からみて、この再開発の、今の発表された概要について、どのような印象を持っているかということと、それが、その区役所のほうの建て替えは、区の役割ということになっているんですけど、その再開発の中でどのように位置付けていこうと考えているか、その2点について教えてください。

＜区長＞

まさに大井町が大きく変わるなという印象を受けております。

一方で、区役所もこれから建て替えているところですので、これをＪＲさんがやるような開発、その他の開発もそうですけれども、やはりこう連携していく、まちとしての一体性、あるいは区民の皆さんが、やはり憩いの場であるとか、楽しんでいただける、あるいは防災機能の向上など、そういったところを連携しながら、まちづくりを進めていければいいんじゃないかと思いますし、大井町は広いですので、地元の皆さん、さまざま活動されている方々、ＮＰＯの方、企業の方、区民の方いらっしゃいますので、そういった方々と連携しながら、まちづくりを進めていきたいと思います。

＜質問者E＞

東日本の社長会見では、歩いて楽しめるまち、高輪ゲートウェイとかそういうのに比べて、カジュアルな楽しめるまちなんていう意見がありましたけれども、どうですか、そこら辺、まちのイメージは。

＜区長＞

実際、道路を閉鎖してお祭りをやったりとか、そういったこともありますし、マルシェなども開催をされています。やはり区民の皆さま、区民以外の方々も、歩いてさまざま楽しめる、そういったにぎわいのあるまちにしていきたいと思っています。

＜司会＞

それでは質疑応答につきましては、ここで終わりとさせていただきます。

それでは本日の会見はこちらで終了させていただきます。

ありがとうございました。

＜区長＞

お忙しいなかありがとうございました。また、来年度もよろしくお願いいたします。

ありがとうございます。